

「地域とつなぐ一言日記帳」の広報・周知について

1 概要

- 「地域とつなぐ一言日記帳」とは、緩和ケアにおける地域連携のコミュニケーションツールで、平成30年1月福岡県がん対策推進協議会の承認を経て、がん診療連携拠点病院を中心に運用を開始。

「地域とつなぐ一言日記帳」の利用は、がん診療連携拠点病院を始め、地域の医療機関(医科、歯科、調剤)、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、ホームヘルパーなど多方面に及ぶ。

- 今般、運用開始から1年を経過し、更なる利用の拡大を促すため、以下のとおり、広報・周知を行うこととする。

2 広報・周知の内容

- (1) 関係団体(福岡県医師会、福岡県歯科医師会、福岡県薬剤師会、福岡県看護協会等)、市町村、患者会を通じた周知(別紙(案)のとおり)

- (2) 県ホームページへの掲載



1 一言日記帳について

この『一言(ひとこと)日記帳』は、
つらい症状を少しでも和らげ、穏やかに過ごすことで、
あなたが“自分らしく生活するために”作られました。
ご自分やご家族の「からだ・気持ちの状態や思い、願い」
を文字にして、地域の医療・介護担当者などに伝えて
いただければ幸いです。

- 受け取ったら、まず
- 困った時の連絡先(3・4ページ)
- わたしについて(5ページ)
 - ◆わたしが大切にしたいこと(6ページ)
に、ご自分の「大切な情報」を書き込みましょう。
※ご家族にお手伝いいただいてもかまいません。
- 患者と家族と医療者が書き込む一言(ひとこと)日記
(8~14ページ)には、日々の暮らしやからだの様子、
または、お困り事など、何でもよいので書き込んでみましょう。
※書き方がわからなければ、お近くの医療スタッフにご相談ください。

受診時や訪問診療時には、担当の医師、歯科医師、薬剤師、
看護師などにお見せください。

病院からもらった説明書・データ・お薬のリストなども
この手帳にはさんで、一緒に保管しておくといいでしょう。

2 